



最優秀賞 静岡県知事賞

静岡第一テレビ新社屋（静岡市駿河区）

受賞者	株式会社 静岡第一テレビ
	株式会社 大林組 設計本部
	株式会社 山下PMC
	有限会社 アースケイブ



アクセス 静鉄バス「見瀬 Daiichi-TV 入口」すぐ
所在地 静岡市駿河区中原 563



「静岡第一テレビ新社屋」は、静岡駅から南に約 2 kmの準工業地域に位置するTV局の建替計画で、令和4年に完成しました。

地域に根差した新社屋の姿を目指すべく『森の中のメディアステーション』を共通コンセプトに、森 / ブリッジからのひとつながりのガラスと、TV 局の象徴でもある鉄塔が周辺地域のランドマークとなるよう計画しました。

元々、既存敷地の東側は「赤道」と呼ばれる道路により分断され、一体的な敷地利用が困難でした。そこで、行政との協議と手続きを経て赤道部分を敷地内に取り込むことで、前面道路である大浜街道の歩道の拡幅と、北東角五差路の見通し改善を図り、周辺環境の改

善にも寄与しました。この部分には既存樹木を可能な限り保存し、樹木ボリュームが森としての印象を形作るよう計画しています。

さらに、大浜街道沿いは一般の方が通行できるよう敷地の一部も歩道空間として提供し、周辺環境改善に尽力しました。この歩道空間には並行してせせらぎをランドスケープデザインとして計画しています。安倍川を模したこのせせらぎは、既存井戸の湧水を水源として利用している他、元々の暗渠を可視化させつつ、心象としてのセキュリティラインとしても機能させています。

周辺環境の改善と住宅街に立地する特徴を活かした、まさに『森の中のメディアステーション』にふさわしい新社屋を、チーム全員が同じベクトルを向きながら具現化していきました。

審査委員より

「森の中のメディアステーション」というコンセプトを、敷地を越えて外部に浸潤させ、緑地・樹木を活かしたランドスケープと新社屋建築のスケールが心地よく、美しい景観を形成しています。

以前は分断されていた敷地を一体化して周辺環境を改善するとともに、安全な歩道空間や可視化されたせせらぎなど、地域住民と共有できる緑地景観を創出しました。